

令和2年度 千曲市日本遺産推進協議会 設立総会 会議録（要旨）

- ・開催日時・・・令和2年8月3日（月） 午前10時～11時15分
- ・開催場所・・・千曲市役所 3階 301会議室
- ・出席者・・・別紙のとおり
- ・会議要旨

- 1 開会（進行：教育部長）
- 2 市長あいさつ
- 3 委嘱書交付
- 4 自己紹介
- 5 日本遺産認定について（説明：事務局）

これまでの経過や千曲市における日本遺産の内容をパワーポイントにより説明した。説明の資料は別紙のとおり。

- 6 仮議長選出

規約が承認されていないため、仮議長（市長）を選出

- 7 議事（議事進行：市長）

- (1)千曲市日本遺産推進協議会規約（案）について

事務局より説明。【議案書 P1～3】

質疑無し⇒原案どおり承認

- (2)議案第2号 役員選出について

事務局より説明。

規約により、会長が市長に選出。（議長も会長（市長）になる。）

協議会規約第5条第2項により、会長が、副会長1名・監事2名を指名。

副会長：千曲市棚田保全推進会議 会長 佐藤委員

監事：千曲商工会議所 常議員 馬場委員

八幡区長会 会長 南澤委員

(3) 議案第 3 号 令和 2 年度事業計画（案）について

(4) 議案第 4 号 令和 2 年度収支予算（案）について

議案第 3 号・第 4 号は関連があるため、まとめて事務局より説明 【議案書 P5・6・7・8】

#### 事務局

議案書 P5 事業計画（案）から P6 収支予算（案）について説明。収入の部補助金負担金の国補助金と借入金と同額である理由は、事業は推進しなければならないが、国の補助金支給の時期が遅れてしまい、事業者支払い遅延を防ぐためであることを説明。

また、P7・8 の人材育成事業・調査研究事業・情報発信事業は、補助率が 100%、姨捨観光会館を改修して日本遺産センター開設や国道の誘導看板設置等の活用整備事業は 65%の補助率を見込んでいて、事業計画と予算を組みたてている。

⇒質疑

#### 委員

予算について、千曲市の日本遺産に様々な歴史と文化があるのは承知している。一番やっていかなければならないのは、後継者問題も含めた棚田の保全（維持管理）だと思う。現在、多くの関係の方々に棚田の維持管理に携わってもらっているが危機感を覚えている。保全（維持管理）の部分の予算の裏付けが足りていないように思える。

#### 事務局

維持管理・耕作者支援については、現行の事業の中で進めている。この日本遺産協議会の予算・事業については、どうやって活用していくかということに重点を置いている。

## 会長（議長）

事務局の説明にもあったが、耕作者や維持管理支援については既に経済部で進めている。この日本遺産の事業については活用などを中心に事業・予算を組んでいるので、ご理解いただきたい

## 委員

ある程度承知している。これからもぜひ配慮して棚田の関係を進めていただきたい。

## 委員

棚田の関係者が高齢化になっているので、保全についても先ほどの意見同様、ぜひ配慮いただきたい。もう1つ、ストーリーの中で今回の認定の名称が「月の都 千曲」になっているが、千曲でなくて棚田や更級でもよかったのではないか。経緯を教えていただきたい。

## 事務局

2つの理由で更級でなく、千曲にした理由がある。1つはストーリーの展開を更級が中心であるが、市内全域に展開したということ。もう1つは、認定の申請の段階で、ストーリー展開と認定場所を狭い区域でなく、広くストーリー展開したほうが良いというのとったほうがよいというアドバイスをいただいたということで、「月の都 千曲」で認定いただいた。

## 会長（議長）

委員さんのご指摘については予め承知しており、これからも市全体で、更級の地をPRしていく。

## 委員

ガイド等の人材育成ということが予算で組まれているが、この千曲市がいかに歴史文化がある、誇りある地であることがわかる。観光教育や生涯教育でも取り入れていただき、故郷のすばらしさを伝えていただくような輪が広がるよう要望する。

## 会長（議長）

月の都千曲ですべてストーリーの中に取り入れられているので、文化財としてきちんと活用して

いきたい。

⇒原案どおり承認

(5)その他

事務局より別紙【補足資料】により、次年度以降の事業計画（案）を説明

⇒質疑無し

8 その他

なし

9 閉会（副会長）